長野県　建設部長　新田　恭士　様

国道１５３号伊那バレー・リニア北バイパス
改良促進に関する

要　望　書

令和６年１０月３０日

国道１５３号伊那バレー・リニア北バイパス
改良促進期成同盟会

高森町・松川町・中川村・飯島町

要　望　書

国道１５３号（高森町下市田から飯島町本郷間）の改良促進につきましては、日頃から格段のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本路線は伊那谷を南北に縦貫し、名古屋を中心とした中京圏から長野県塩尻市を結ぶ重要な骨格幹線道路で、中央自動車道の代替機能を有し、国の重要物流道路にも指定されている路線です。また、今後高い確率で発生が予想される南海トラフ巨大地震をはじめとする大規模災害時における緊急輸送路として、伊那谷の生命線であるとともに、産業、教育、文化など、広域的な交流と発展に寄与する大変重要な路線です。

さらに、開業が予定されているリニア中央新幹線長野県駅へ直結する道路であることから、アクセスルートとして、今まで以上の重要な役割を果たすとともに、三遠南信自動車道の開通により、東三河・遠州の大商圏と直結することで、さらなる経済活動の活性化が期待されることから、国道１５３号の整備は、高速交通網がもたらす流入人口増による経済効果、災害時の迅速な救護活動、企業誘致、観光振興等の多面的な整備効果が期待されます。

しかしながら、高森町下市田から飯島町本郷間約１８キロメートルは、急カーブ、急勾配区間が多く存在し、冬季の積雪、路面凍結に起因する交通障害、事故が多数発生しており、日常生活にも支障を来たしている現状です。また、朝夕の通勤時には慢性的な交通渋滞も引き起こされており、緊急輸送路としての安全性・信頼性という点では多くの課題を抱えていますが、現時点で長野県の改良計画は策定されていません。

これらを踏まえ、リニア新時代への対応として、リニア中央新幹線長野県駅と伊那バレーを縦貫する、自動運転車両専用レーンを有した、バイパス規格での道路整備が望まれます。

この現状を鑑み、国道１５３号の整備がスピード感をもって進展するよう、次の事項について実現を強く要望します。

要 望 事 項

１　安定的な道路財源の確保と道路事業費の大幅な拡大

国土の発展と災害に強い道路ネットワーク整備及び道路の老朽化対策を推進するため、道路事業全体の安定的な道路財源の確保と道路事業費の大幅な拡大をお願いしたい。

２　早期事業化に向けた調査の推進

長野県は、リニア中央新幹線の開業により、首都圏・中京圏・関西圏の三大都市圏の中間地点として重要な位置につくとともに、三遠南信自動車道の開通により、さらなる経済活動の活性化が期待されることから、その効果を波及させるため、リニア中央新幹線長野県駅開業後の旅客流動の変化を踏まえた二次交通に係る課題の整理と早期の調査を実施いただき、改良計画の策定をお願いしたい。

３　自動運転車両専用レーンを有した規格での道路計画

改良計画に際しては、リニア新時代への対応として、リニア中央新幹線長野県駅と伊那バレーを縦貫する、自動運転車両専用レーンを有した、バイパス規格での道路整備計画を策定いただきたい。

４　一般国道１５３号全線の道路法に基づく指定区間編入

要望を早急に力強く実現するためにも、一般国道１５３号全線の道路法に基づく指定区間編入に向けて取り組みを強化いただきたい。

令和６年１０月３０日

国道１５３号伊那バレー・リニア北バイパス改良促進期成同盟会

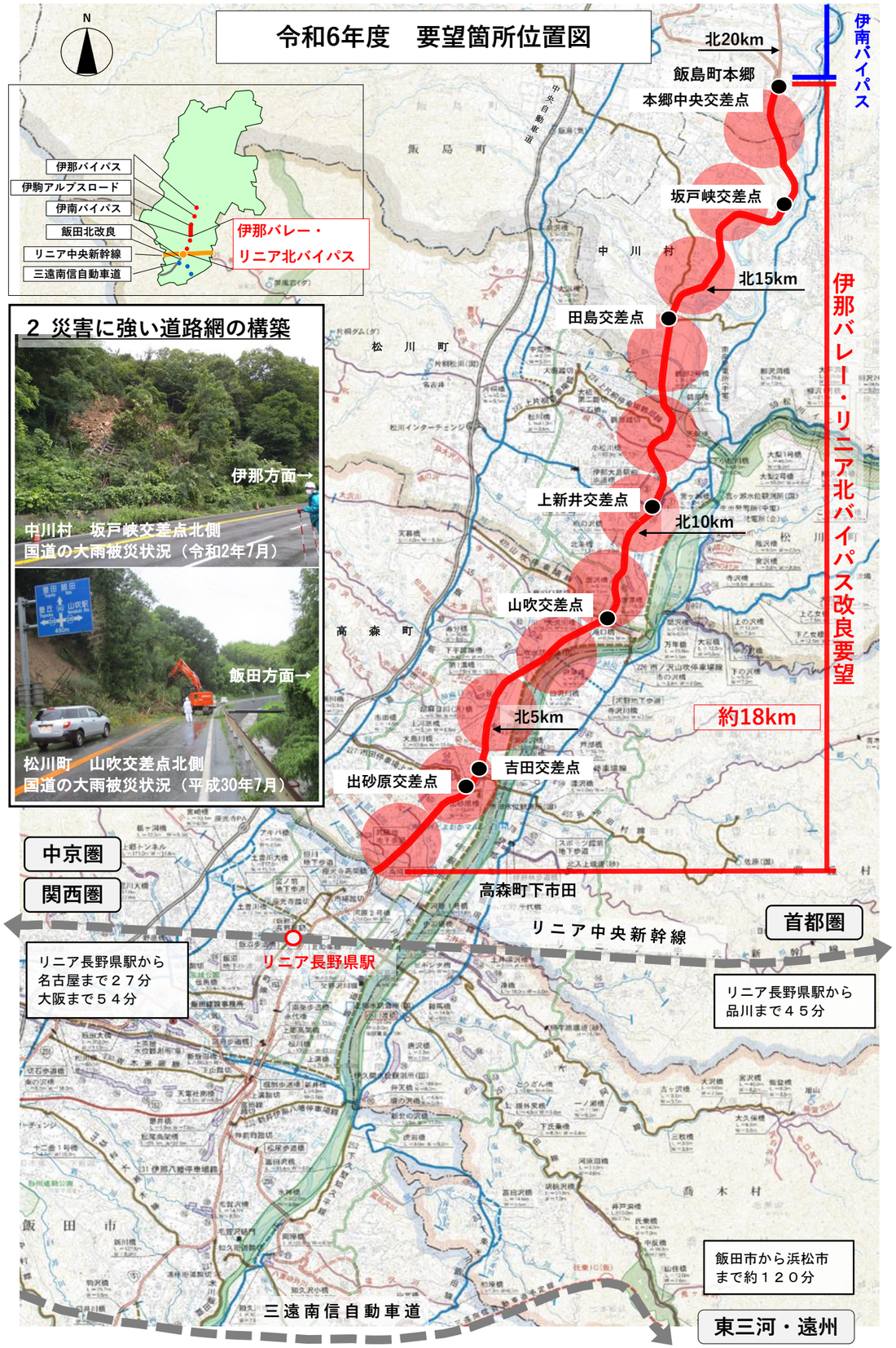
会　長　高森町長　壬生　照玄

副会長　中川村長　宮下　健彦

理　事　松川町長　北沢　秀公

理　事　飯島町長　唐澤　　隆

令和6年度　要望箇所位置図



2 災害に強い道路網の構築

整備効果

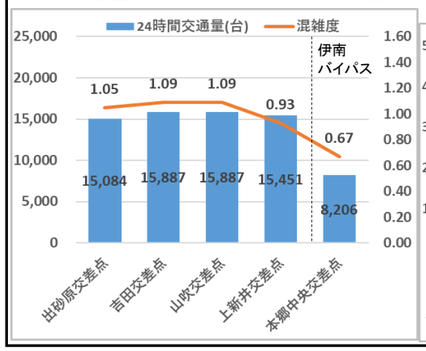
1 渋滞緩和や旅行速度改善によりリニア整備効果を広く波及

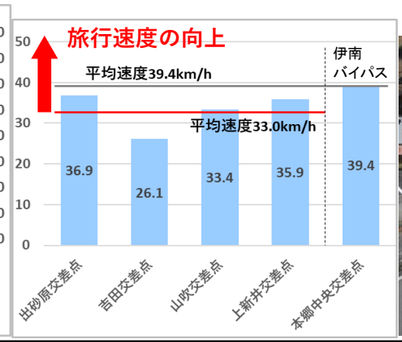
2 災害時の迅速な救護活動、企業誘致、観光振興等の多面的な整備効果

3 リニア新時代に対応した公共交通体系の構築

1 現道の渋滞解消・交通支障区間の解消・旅行速度の改善

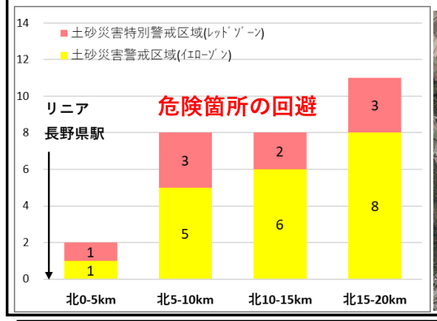
▼交通量・混雑度・混雑時旅行速度（資料：令和３年度全国道路・街路交通情勢調査）





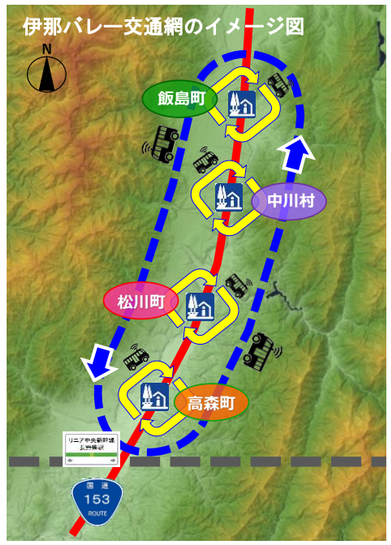
2 災害に強い道路網の構築

▼現道にかかる土砂災害危険箇所数（資料：長野県暮らしのマップ）



3 リニア新時代に対応した公共交通体系の構築

自動運転により基幹公共交通と地域公共交通を接続させ、
新公共交通システムを構築

①集約型都市構造を支える基幹公共交通
　リニア駅と伊那バレーを専用レーンで縦貫

②日常的な生活ニーズに対応した地域公共交通
　道の駅等を拠点に市町村内を巡回各種サービス提供